

# 災害福祉支援 通信

2026年3月19日 Vol.22

全国社会福祉協議会 全国災害福祉支援センター  
(災害福祉支援ネットワーク中央センター)

○本メールニュースは、都道府県災害福祉支援ネットワーク主管課・事務局、都道府県社会福祉協議会災害福祉支援部局、災害福祉支援ネットワーク中央センター企画協力員等の皆様へ①災害福祉支援に係る情報、②全国災害福祉支援センターが実施する事業等の案内等をご提供いたします。

## 今号のトピックス

1. 「災害福祉支援ネットワーク中央センター 令和7年度 DWAT 初動チーム研修」資料について
2. 神奈川県地域福祉課災害福祉グループ 取組報告

### 1. 「災害福祉支援ネットワーク中央センター 令和7年度 DWAT 初動チーム研修」資料について

令和6年能登半島地震の振り返り(令和6年11月全国会議)等において課題提起されていたDWAT標準研修プログラム作成の一環として、令和8年3月2日(月)～3日(火)に「DWAT初動チーム研修」を開催しました。

当日はDWATガイドラインで規定された「初動チーム」の定義や役割、具体的な業務等について、演習を中心としたプログラムに72名が参加しました。

なお、今回の研修はDWAT活動要領の策定前のものであり、模擬研修という位置づけで実施しました。令和8年度以降は、今後厚生労働省より発出される予定のDWAT活動要領や研修参加者アンケートの回答をもとに内容を修正して開催予定です。

当日資料を全国災害福祉支援センターホームページの関係者専用ページに掲載しました。本ページは、都道府県行政、都道府県社協の災害福祉支援ネットワーク事務局等の担当者のみアクセス可としております。上述のとおり、模擬研修との位置づけであり、今後修正を行うものでありますので、都道府県事務局から都道府県内関係者への資料の共有は、お控えいただければと存じます。また、資料の転載につきましてもご遠慮ください。

### 2. 神奈川県地域福祉課災害福祉グループ 取組報告

神奈川県地域福祉課災害福祉グループから令和7年度の取組についてご寄稿いただきましたので、以下、皆さまにお知らせいたします。

また、都道府県災害福祉支援ネットワークにおける取り組みについて、本通信で全国の災害福祉支援ネットワーク関係者にお伝えしたく思っておりますので、都道府県災害福祉支援ネットワークの皆さまからのご寄稿をぜひお願いいたします。

~~~~~

神奈川県では災害時の要配慮者支援の取組をより促進するため、令和7年4月に県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課内に災害福祉支援を専門に担当する「災害福祉グループ」を新設しました。体制としては、行政職3名、福祉職2名の5名体制となります。

本年度の当グループの取組について、災害福祉支援NW事務局の皆さまに、ご報告をさせていただきます。

### ○神奈川DWATの取組について

神奈川DWATは、令和2年度に組成し、令和8年3月時点で 330 名のチーム員に、ご登録いただいております。

能登半島地震での初めての活動を踏まえて、発災時に備えた「訓練」の実施が課題になっていました。そこで、本年度は県内5市町で、各市町と連携をした訓練を実施したほか、神奈川DWAT事務局主催による一般避難所でのアセスメントのロールプレイ訓練を初めて実施しました。

また、発災時の神奈川DWAT本部設置・先遣隊派遣までの流れのイメージを持つために、神奈川DWAT本部の設置・運営訓練を初めて実施しました。

訓練の企画実施にあたっては、神奈川DWAT事務局(県・県社協)が中心となりつつ、事前に募った先遣隊チームリーダー候補者のDWATチーム員の皆さまと連携をしながら行いました。

(参考)県ホームページ

「これまでの神奈川DWATの研修・訓練実施について」

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/dwat\\_training.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/dwat_training.html)

「神奈川DWAT先遣隊及びリーダー候補者」

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/dwat\\_dvanceteam.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/dwat_dvanceteam.html)

### ○都・県をまたがる研修

災害時には他県への支援や広域避難者の支援なども想定されることから、都道府県を超えたDWATの連携がより重要であり、平時から近県のDWAT同士の顔の見える関係づくりが大切となります。

そこで東京都災害福祉広域支援ネットワーク・かながわ災害福祉広域支援ネットワーク・静岡県災害福祉広域支援ネットワーク・山梨県災害福祉支援ネットワーク会議では、初めての合同研修会をパシフィコ横浜にて開催し、各都県のネットワーク事務局・DWAT チーム員登録者、計 111 名が参加しました。

まずは、全国社会福祉協議会全国災害福祉支援センター駒井公氏から「能登半島地震の活動を踏まえた今後のDWATが目指す方向」についての、ご説明をいただきました。その後、静岡県立大学短期大学部鈴木俊文教授から「災害救助法の改正に基づくDWATの役割について」、Office SONOZAKI 園崎秀治代表から「実践事例より今後のDWATに求められる視点を考える」をテーマにご講義をいただきました。その後、災害救助法の改正を踏まえ、今後DWATに求められる役割について、グループワークを通じて、参加者間で一緒に考えました。

研修全体を通じて、DWATでは福祉の多(他)職種のチームメンバー内での協働、他都道府県のDWATとの協働、地元関係者や他の分野・業界との協働が、被災地支援で求められていること。そのためには、まずは相手を知ることが大切であることを再確認しました。

(参考)

福祉新聞 災害に備え1都3県の災害派遣福祉チームが合同研修

<https://fukushishimbun.com/bosai/44344>

JCOM 地域取材ノート 災害関連死を少しでも減らすために！1都3県のDWATが合同研修！

<https://note.jcomdlocal.jp/n/n580f95951c27?gs=3d298c4df7b8>

## ○社会福祉施設での災害対策

過去の災害で、被災した社会福祉施設への支援が大きな課題となったことから、県庁の福祉部局内の関係部署で「災害福祉対応力強化検討チーム」を組織し、災害福祉グループが中心となって、庁内体制や各課の事業の情報共有や課題検討を年7回行いました。

そして国災害時情報共有システムについて、高齢・障害・児童のシステムの違いについてまとめた県ホームページを作成したほか、集団指導講習会や新規事業所指定の場にて、災害時情報共有システムについての説明を行い、発災時の入力を依頼しました。

また、令和7年度ビッグレスキューかながわ(県総合防災訓練)において、神奈川DMAT(災害派遣医療チーム)による高齢者施設支援訓練を初めて実施しました。

(参考)県ホームページ

「令和7年度ビッグレスキューかながわ(令和7年度神奈川県・三浦市合同総合防災訓練)での高齢者施設支援訓練」

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/r7bigrescue\\_welfare](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/r7bigrescue_welfare)

「福祉施設の災害時情報共有システムについて～社会福祉施設の方へ～」

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/disaster\\_welfare\\_sharing\\_system.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/disaster_welfare_sharing_system.html)

その他「避難行動要支援者名簿・個別避難計画」「福祉避難所」「県庁福祉部局内での発災時の初動体制のマニュアル作成・訓練実施」などの取組を実施したほか、社会福祉施設団体・障がい当事者団体・大学等との意見交換、災害福祉に関する普及啓発活動を実施しました。

以上、簡単ではございますが、本年度の神奈川県地域福祉課災害福祉グループの取組について、ご報告させていただきます。

ぜひ今後とも、他都道府県の災害福祉支援ネットワーク・DWATの皆さまと一緒に、災害福祉支援の取組を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課災害福祉グループ

(参考)

県ホームページ 災害時福祉支援ポータルサイト

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f536078.html>

お問い合わせ

全国社会福祉協議会 災害福祉支援センター【蓮子(はし)、駒井、井上】

[z-saigai\\_shien@shakyo.or.jp](mailto:z-saigai_shien@shakyo.or.jp)